

平成 29 年度 事業報告

1 事業の成果

平成 29 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。また、前年に引き続き大阪市住之江区における活動も行った。

定例講演会は第 157 回（年度中 8 回）を迎えた。

【環境学習・教育事業】

「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、昨年と同様に GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境+生きもの体験」を実施したのに加え、大阪市住之江区の南港野鳥園において「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」を開催し、身近な環境について体験し考える環境教育を行った。

また、一般市民を対象とした定例講演会を、世田谷区駒沢地区において 6 回、大阪市住之江区で 2 回開催した。なお、これらの講演会はテレビ会議システムを利用し、全国 10 か所でも聴講できる形式で開催している。

【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 28(2016)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2017」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

また、いであ(株)と連携し、防災・減災学習用教材「ぼうさいキング」の普及活動を行い、販売を担当した。

【情報収集及び情報提供事業】

また、東北地方および中部地方を中心として、淡水魚及びその生息地の保護に関する活動（生息地の状態の把握の調査、行動特性に関する研究、個体の生息域外での保護等）を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲 および人数	支出額 (千円)
環境学習・ 教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する 室内セミナー等	7月29日(土) (13:00~17:00)	世田谷区 駒沢	35人	小学生・幼児、保護 者 (41人, 26人)	255
	「子ども環境カレッジ」 水辺公園緑地の自然観 察会	7月29日(土) (9:00~12:00)	大阪市住之江 区南港野鳥園	18人	小学生・幼児、保護 者 (11人, 8人)	49
	環境保全に関する 講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月24日(月) 5月29日(月) 7月3日(月) 7月24日(月) 8月28日(月) 9月25日(月) 10月23日(月) 12月4日(月) (原則17:00~ 18:30)	5,7,8,9,10月 世田谷区 駒沢 4,12月 大阪市	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の総 数) 263人 196人 263人 237人 206人 175人 157人 188人	621
	自然観察会等への支援	4月22日 (土) 11月11日 (土)	横浜市都筑区	2人 /1回	小学生・保護者 20人/回	0
環境保全に 関する普及 啓発事業	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	25
	活動報告書の作成	8月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数1,600)	410
	防災・減災学習教材の 制作・販売	7月~3月	世田谷区 駒沢	2人	一般市民 (不特定多数)	0
	「東京湾シンポジウ ム」ポスター展出展	10月	横浜市西区他	2人	一般市民 (200人程度)	0
情報収集及 び情報提供 事業	淡水魚の保護に関する 活動	4月~3月	岩手県大槌町 岐阜県大垣市 三重県菰野町 ほか	2人	一般市民 (不特定多数)	1,800

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 および予定人数	支出 (千円)
	実施せず					

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 29 年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
4 月 24 日(月)	●第 150 回 (平成 29 年度第 1 回) 定例講演会 「自然史と保全生物学」	和田 恵次先生 (奈良女子大学名誉教授/いであ(株) 大阪支社技術顧問)
22 日(土)	◎身近な自然観察会支援(横浜市)	小学校保護者協力
5 月 29 日(月)	●第 151 回 (平成 29 年度第 2 回) 定例講演会 「これからの都市やまちづくりにおける環境の活かし方を考える」	甲斐 徹郎先生 (株式会社チームネット 代表取締役 /関東学院大学 客員教授)
6 月 19 日(月)	※平成 29 年度 (第 14 回) 通常総会	
7 月 3 日(月)	●第 152 回 (平成 29 年度第 3 回) 定例講演会 『「持続可能な開発目標」(SDGs) の達成に向けた取組』	竹本 和彦先生 (一般社団法人 海外環境協力センター 理事長/国連大学サステイナビリティ 高等研究所 所長)
24 日(月)	●第 153 回 (平成 29 年度第 4 回) 定例講演会 「河川物理の理解の現状と今後の技術展開の方向性」	安田 浩保先生 (新潟大学災害・復興科学研究所防減 災技術研究部門/新潟大学工学部力学 分野 准教授)
29 日(土)	○子ども環境カレッジ 「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」 ○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	大阪南港野鳥園 19 名参加 (小人 11, 大人 8) GEC ホール 67 名参加 (小人 41, 大人 26)
8 月 28 日(月)	●第 154 回 (平成 29 年度第 4 回) 定例講演会 「鳥の渡りと地球環境の保全」	樋口 広芳先生 (東京大学名誉教授/いであ(株)生物 多様性研究センター顧問)
9 月 25 日(月)	●第 155 回 (平成 29 年度第 5 回) 定例講演会 「海における 3 つの色: ブルーカーボン, グレーインフラ, グリーンインフラ」	桑江 朝比呂先生 (港湾空港技術研究所沿岸環境研究グループ長)
10 月 20 日(金)	◇東京湾シンポジウム ポスター展出展	
23 日(月)	●第 156 回 (平成 29 年度第 6 回) 定例講演会 「微細藻類を用いたバイオプラスチック原料の生産」	小山内 崇先生 (明治大学農学部農芸化学科 専任講師)
11 月 11 日(土)	◎身近な自然観察会・落ち葉アート等支援	小学校保護者協力
12 月 4 日(月)	●第 157 回 (平成 28 年度第 7 回) 定例講演会 『これからの自然環境保全に不可欠な時間軸と空間軸の概念』	山崎 亨先生 (アジア猛禽類ネットワーク会長/奈良大学非常勤講師)

○環境学習・教育事業 (子ども環境カレッジ)

●環境学習・教育事業 (環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等)

◎環境学習・教育事業 (身近な自然観察会支援)

◇環境保全に関する普及啓発事業